令和5年度第1回えなの森林づくり推進委員会全体会議 会議録

日 時：令和5年8月29日（金）
午前10時30分から
場 所：恵那市役所会議棟 災害対策室

出席委員 11名

1番（岡田努）代理、中垣 2番 足立健二 3番 寺澤俊二 4番 鈴木今衛
5番 安藤雅人 6番 小林太朗 7番 佐藤大輔 8番 曾我良久 9番 片田岳史代
11番 安藤由美子 12番 小掠正明 13番 鈴木秀利 14番 高橋幸生
15番 安藤善和

欠席委員 5名

10番 森岡哲郎

アドバイザー出席者

東濃森林管理署 森林技術指導官 村井千秋

事務局

恵那市農林部長 鈴木文明
恵那市役所農林部次長兼林政課長 小木曾弘明
恵那市農林部林政課長補佐 原田宏明
恵那市農林部林業振興係長 丸山福美

開会 午前10時30分

1. 開会あいさつ

事務局 恵那市 農林部長 鈴木文明

2. 会議の公開について（恵那市付属機関等の会議の公開に関する要綱）

事務局より説明

- ・会議は原則公開とし、会議録をもって公表していく。
- ・個人情報を取り扱いがなく公開を決定していく。

3. 委嘱状の交付

机上に配布。任期：令和5年8月29日から令和7年3月31日

4. えなの森林づくり委員会の役割

事務局より説明

恵那市の森林の保全、活用に関する方策、方針を検討していく会議。

令和4年に変更計画を策定。

市内の77%が森林でありそのほとんどがヒノキの人工林である。また、主伐適齢期

を迎えている人工林がほとんどである。

えなの森林づくり委員会からの提言を踏まえて、「えなの森林 活かして守って次世代へ ～市民の力で持続可能な地域循環型の森林づくり～」という理念を掲げ、「未来への枠組み、えなの森林を活用する、えなの森林を守る、えなの森林を支える力」の4つの視点から森林づくりを進めます

5. 自己紹介

自席にて行う。

6. 正副委員長の選任（えなの森林づくり推進委員会設置要綱）

事務局より説明。

正副委員長の選出方法は委員の互選。意見があるか確認。

（事務局一任との提案有り）

事務局案は、委員長は足立健二氏・副委員長は小椋正明氏を提案いたします。

（意義なしとの発言あり）

正副委員長については、事務局案となる。

新委員長挨拶。新副委員長挨拶。

7. 協議事項

①「令和5年度の主な事業について」

②木工コンテスト（えなの木、もりの木、きになる木コンテスト）について

③今後のスケジュール及び部会の編成について

委員長：「令和5年度の主な事業について」を事務局より説明願います。

事務局：事務局より令和5年度の主な事業の説明

「未来の枠組み」では観光景観林と生活保全林のゾーニング

「森林を活用する」は薪の販売、木の駅や地域住民に対して薪割り機の薪ストーブの補助金

「森林を守る」カーボンニュートラルに向けた林業。Jクレジットの申請、環境譲与税を活用し、長島町の鍋山で地籍調査が終わっていない地域の境界画定事業を行っていく。

「森林を支える」小中学校の森林教育は委託をして実施している。高校の森林教育も考えたい。木育の推進ではえーな木育クラブにこども園、親子を対象とした木育教室を展開している。映画の開催も行った。えーな木育クラブを中心に木育の推進をおこなっていききたい。

安藤委員：3点質問があります。

ロードマップの目標に数字が入っていない。目標数値がないと計画とは言えないのでは。数字を入れてほしい。「森林を支える」のところで農林業体験ツアーのところは情報発信をしていくことに促すという提案になっていたが、予算のかからない形でも情報の発信の工夫をしていただきたい。

森林教育の活動拠点づくりのところでは令和5年度の予定が木育の推進と同じになっている。拠点を作っていくという意味では、今使われていない拠点をどの

ように活用をしていくを検討したほうが良いのでは。

事務局：目標値については総合計画に沿ってあげていきます。

森林教育活動のフィールドづくりはなかなかフィールドが皆様のご意見をいただきながら進めていきたい。

情報発信の部分は、農林業体験に参加していただいた方が恵那の魅力、農林業の魅力を発信していただけるツアーにして情報を発信したい。WEBを作る予算もないので参加者の力を借りて発信していきたい。

安藤委員：参加者からの情報発信ですと、市の事業ではない。こういう事業をしますやこういった活動をしますなどの発信の工夫をしていただきたい。

佐藤委員：活動拠点の補足ですが、えな木育クラブで活動しています。今年度も委託を受けて活動しています。現在は山岡のイワクラ公園で事業を行っている。今イワクラ公園が拠点になりつつあります。あとは山のフィールド作りの課題もあります。市有林の人工林、天然林を中心に林政課と一緒に探していきたい。また、恵那南高校で夕立山森林塾へ依頼があり、予算も限りがあり、市が間に入っていないか。森林環境教育指導者の会合が以前はあったので、今後市と相談をしていきたい。

事務局：高校の森林教育ももう一度検討したい。森林教育活動をする指導者のリスクマネジメント事業も併せて検討したい。

委員長：事務局の対応をお願いします。そのほかご意見はありますか？

鈴木委員：「森林を守る」のところでカーボンニュートラルの話があるが、Jクレジットの制度の検討とあるが、岐阜県でも同様の取り組みがあるようなのでこちらも検討しては。岐阜県版は森林経営計画外でもクレジット化できるとのこと。恵那市内の、森林経営計画はどれだけあるか。

事務局：まず森林にはゾーニングがあり、木材生産林や環境保全林があり木材生産ができる山で森林経営計画が設定できる。今、約10件の経営計画がある。岐阜県版のクレジットも承知している。恵那市も今後岐阜県版を進めていきたい。

委員長：続きまして②木工コンテスト（えなの木、もりの木、きになる木コンテスト）について説明をお願いします。

事務局：毎年開催している、木工コンテストを開催します。9/8～9/10までの3日間です。皆様のご協力をお願いします。

森づくり委員で審査をしてもらう。土日の展示、日曜日に表彰式を行います。場所については共同福祉会館で行います。

委員長：続きまして今後のスケジュール及び部会の編成について説明をお願いします

事務局：今後のスケジュールですが次第の1Pをご覧ください。

10月にテーマ別で部会を行っていきます。事務局で部会を分けていますのでお願いします。

安藤委員：来年度の予算編成はいつぐらいからか

事務局：毎年、10月くらいに予算編成があります。間に合わなければ12月ごろに検討したい。

8. 報告事項

委員長：その他意見はありませんか。なければ8番の報告事項について説明をお願いします。

事務局：報告事項ですが、えなの森林づくり委員会から選出された会議の報告をします。
公園の在り方検討委員会に森岡さん、恵那市環境検討委員会に小椋さんに参加していただいています。

「木育について」の報告をします。先ほどからお話に出っていますが、木育はえな木育クラブに委託をしております。こども園や親子の木育活動を行っていただいております、小学校の木育活動は根ノ上の赤尾さんに委託しております。また今年度からは、農林事務所から報告があると思いますが、恵那、中津川の木育指導者連絡会議に木育クラブの方に参加していただいております。

続きまして、恵那市の木工作品展のご案内です。昨年と同じように岐阜市にある木遊館での企画展です。日にちが12/1～12/26までの25日間、恵那市の木工家による企画展を開催予定です。

期間中に木育のワークショップを予定しており、マイ箸づくりや、木の枝を使った笛づくり行う予定です。

農林連携事業についてですが、今年度も石川農園さん、奥矢作森林塾さんの協力を得ながら農業、林業体験を行っていきます。その中で、活動を動画によって魅力の情報発信をしていきたいです。

9. その他

委員長：その他について、各関係機関より現在の状況等の報告をいただきたいと思えます。

- ・ 東濃森林管理署より
別紙資料に基づき説明
- ・ 恵那農林事務所林業課より
別紙資料に基づき説明
- ・ 岐阜県森林組合連合会東濃林産物共販所より
共販所の現状、記念市について説明

10. 閉会のあいさつ

副委員長挨拶

閉会 午前11時50分